

令和2年度 事業報告書

社会福祉法人広島平和養老館

〒734-0017 広島市南区似島町字東大谷3073-5
TEL 082-259-2709
FAX 082-259-2286

目次

法人本部	1
特別養護老人ホーム広島平和養老館	3
デイサービスセンターにのしま	7
広島平和養老館居宅介護支援事業所	9
養護老人ホーム広島平和養老館	11

I. 法人本部

1. 役員会等開催状況

(定時評議員会)

開催年月日	出席数	議 題
令和2年 6月20日	評議員 8名 監事2名 理事3名	(報告事項) 令和1年度事業報告について (決議事項) 1 令和1年度広島平和養老館計算書類及び財産目録の承認について

(理事会)

開催年月日	出席数	議 題 (決議事項)
令和2年 6月4日	理事6名 監事2名	1 令和1年度広島平和養老館事業報告案について 2 令和1年度広島平和養老館決算報告案並びに監事監査報告について 3 令和1年度定時評議員会の開催案について
令和3年 3月27日	理事6名 監事2名	1 令和2年度社会福祉法人広島平和養老館補正予算案について 2 令和3年度広島平和養老館事業計画案について 2 令和3年度社会福祉法人広島平和養老館当初予算案について 2 評議員選任解任委員の選任について 2 評議員選任解任委員会に推薦する次期評議員候補者名簿案について 2 就業規則の一部改訂並びに規程の追加について

(監事監査)

日時 : 令和2年5月28日(木) 11:30～
会場 : 広島平和養老館事務室
実施者 : 新野監事、山根監事

2. 主な職員の研修状況(施設内研修)

(1) 身体拘束に関する研修(虐待防止研修)

日時: 令和3年6月1日(特養/養護/デイ/居宅)

令和3年3月1日(特養/養護/デイ/居宅)

(2) 感染症に関する研修(食中毒・感染症)

日時: 令和2年6月18・29日(デイ・食中毒/感染症)

令和2年6月18～28日(特養・食中毒/感染症)

令和2年6月20日(居宅・食中毒/感染症)

令和2年6月26日～7月7日(養護・食中毒/感染症)

令和3年3月1日(特養/養護/デイ/居宅・コロナウイルス感染症対策)

(3) 新人研修

日時 : 令和2年8月1日

令和3年1月13日

対象者: 新人職員

会場 : 広島平和養老館事務室

内容 : ①広島平和養老館倫理規程について

②感染症予防と対策について

③接遇・虐待防止・身体拘束について

3. 職員会議開催状況

開催年月日	議 題
令和2年4月9日	1 行事予定について 2 R2年度事業計画について 3 新型コロナウイルス感染症対策について 4 処遇改善一時金について
令和2年6月10日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 避難訓練について 4 夏季賞与・処遇改善一時金について 5 新型コロナウイルス感染症に関する面会制限について
令和2年8月12日	1 行事予定について 2 職員の補充について 3 介護保険課指導について 4 新型コロナウイルス感染症に関する面会制限について
令和2年10月14日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 避難訓練について
令和2年12月21日	1 行事予定について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 避難訓練について 4 職員・利用者の行動について 5 時間外・休日労働に関する協定書(36協定)について
令和3年2月12日	1 行事予定 2 感染症対策について(インフルエンザ等) 3 R2年度行事予定計画の立案について 4 その他(職員の補充について)
令和3年3月20日	1 R3年度行事予定計画について 2 R2年度決算見込みについて 3 感染症対策について(新型コロナウイルス等)

II. 特別養護老人ホーム

平成12年に発足した介護保険制度は、制度改正による介護報酬の切り下げにより、経営収支が年々悪化していきましたが、今年度以降は介護職の不足により、入所者の受け入れに一定の制限をせざるを得ない状態が続いたため、きびしい収支決算となりました。

1. 入居者の状況について(令和3年3月31日現在)

① 定員 30名 ② 実人員 16名

③ 年齢別状況

	～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～	合計
男性	0	0	2	0	0	2
女性	0	3	7	4	0	14
計	0	3	9	4	0	16

④ 要介護の状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	0	0	2	0	0	2
女性	0	0	4	8	2	14
合計	0	0	6	8	2	16
	0.0%	0.0%	38.0%	50.0%	13.0%	100.0%

⑤ 月別入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員	4名	3名	4名	3名	3名	2名	3名	2名	1名	1名	0名	3名	29名
延べ日数	64日	52日	88日	64日	28日	57日	51日	34日	31日	4日	0日	49日	522日

2. サービスの主な内容(給食について)

- ① 管理栄養士が中心となって、バランスの取れた献立を作成しました。
- ② 冷たい物は冷たく、温かい物は温かく、適温食を提供しました。
- ③ 食堂前に1週間の献立を提示し、関心を持ってもらえるようにしました。
- ④ より良い献立を作成するにあたり、アンケート調査を実施しました。
- ⑤ 持病を持った人に対しては、特別食を提供しました。
- ⑥ 楽しい食事となるよう、オムライスの日、カレーの日、お好み焼きの日を設定しました。
- ⑦ 一日当たりのエネルギー1,400キロカロリー、一日当たりの食費820円。
- ⑧ 非常事態に備え、災害非常食を3日以上常備しました。

3. 入浴について

- ① 清潔を配慮をし、足先まで丁寧にケアしました。
- ② 浴室の温度や湯温に注意し快適に心身ともにリラックスしてもらえるよう努めました。
- ③ 一般浴・機械浴とも風呂場を清潔に保ち、障害物等ないかを確認し、安全面に配慮しました。

4. 排泄について

- ① 居室でのポータブルトイレの使用時やトイレ介助にはプライベートカーテンを使用し、プライバシーの配慮を心がけました。
- ② 利用者の自立度に応じ排泄用具の選定し、動作時の安全性を確保し、本人の自尊心を傷つけることのないよう対応を心がけました。

5. 機能訓練について

- ① 残存機能を維持するためケアプランの中に機能訓練の計画を盛り込みました。
- ② ベッド上での時間が長い方には、できるだけリラックスしていただけるよう介助の工夫しました。

6. 健康管理について

- ① 嘱託医・看護師・介護職の連携により、健康管理に努力しました。
- ② 毎月、体重測定を実施し、健康面、栄養面の個別のチェックを行いました。
- ③ インフルエンザ対策として、入居者及び職員にワクチンの投与を1回行いました。
結果、インフルエンザ感染者は職員利用者とも0名でした。
- ④ 前年度末より新型コロナウイルスの発症が全国的に見られました。当初は未知のウイルスとのこともあり、対応するために研修に参加し、各職員に徹底周知を図るとともに、利用者にも極力不要不急の外出を控えてもらうなど、協力をいただきながら、結果年度末日現在において発症者はいませんでした。
- ⑤ 感染症のリスクを軽減するための必要な知識、対応・防止のため、感染症対策委員会を年4回開催しました。

7. 災害対策について

- ① 消防設備、避難器具の点検を行いました。
- ② 避難訓練を年3回実施しました。

8. 家族・交流について

- ① 家族との連絡を密に取り合いました。
- ② 施設だよりを年2回発行し、情報の共有に努めました。
- ③ 新型コロナウイルス予防の対策により、今年度はボランティア介護体験実習生の受け入れができませんでした。（例年：似島中・似島学園等）

9. レクリエーション活動について

- ① 「生きがい対策」として、書道クラブを年5回・体操クラブを年12回に加え、各行事の企画や地域行事に開催・参加ができきない代替としてぬりえクラブを実施しました

10. 人材育成について

- ① 令和3年3月31日現在、看護師3名、ケアマネ1名、介護福祉士4名、ヘルパー2級(初任者研修含む)5名を配置しています。
介護技術の向上・支援員の知識向上が求められていることから、次年度初任者研修取得に向け取り組みをはじめました。

② 施設内外での研修がコロナの緊急事態宣言等により開催が限られましたが、リモート研修に参加し、内容を施設内研修にて報告し資質向上に努めました。

1 1. 施設利用者の虐待防止について

特養でも、28年度に、入所者に対する虐待行為があったとの通報が広島市からあり、施設としても重要課題と位置づけています。

今後虐待0の施設にしていくために、虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会を各年6回開催し、職員の介護技術だけでなく、意識の向上を目的に、具体的な事例検討を話し合い、精査していきました。

1 2. 介護事故予防に向けた取り組みについて

利用者の介護時、見守り中の転倒等の事例検討や現在のリスクについて、介護事故予防委員会を年6回開催し、事故の予防に努めました。

1 3. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

前年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行の兆しを見せており予断を許さない状況になっております。当初は情報も少なく手探りの状態の中、職員は感染症対策のため毎日の検温と業務中に限らず業務外でも手指の消毒の徹底に取り組み、密を避けるための行動をとりました。

職員は令和3年3月に2回PCR検査を行い感染していないことを確認しました。利用者においても、手指の消毒を1日数度行いました。家族との面会もお断りすることが多く、玄関のガラス越しで面会をするケースもありました。他に家族との面会に関してはリモートでも行えるよう環境を整える課題が残りました。

Ⅲ. デイサービスセンターにのしよ

介護保険法の改正により、要支援1、2の方が利用する介護予防サービスが総合事業に移行しました。1日型デイサービスでは「広島市介護予防・日常生活支援総合事業の指定業者の基準に関する要綱」の内容を遵守し、実施しました。

事業の実施にあたっては、関係市町村、地域包括センター、居宅介護支援事業者、地域の保健・医療・福祉サービスとの綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努めました。

利用者やその家族のニーズにきめ細かく柔軟に対応し、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ったサービスを提供できるよう努力しました。

1. 利用者の実績

	令和2年度	
地域密着型通所介護	971	名
1日型デイサービス	507	名
合 計	1,478	名

2. サービスの内容について

① 生活指導

利用者からの生活に関する相談に対し、助言や情報提供を行ってきました。

② 機能訓練

利用者の残存機能・能力を把握したうえ、レクリエーション・リハビリを行う中で楽しみながらADLの維持・向上をはかってきました。

③ 介護サービス

利用者個人別の身体及び健康状態、又その時の場面に応じたサービスを提供してきました。

④ 介護方法の指導

利用者本人やその家族に対して、介護に関する情報を提供し、身体的・心理的援助を行ってきました。

⑤ 送迎

R1年度に県内施設で、送迎中の大きな死亡事故が発生したことに考慮し、シートベルトの着用をはじめ安全最優先の移動に心掛けてきました。

3. 通所サービスの実施日

(1) 実施日

月曜日～土曜日 週6日

(但し、国民の祝日に関する法律に規定する休日、年末年始を除く)

年間開所日数 287日

年間利用人員 30人

(2) 実施時間

午前9時～午後3時15分 (但し、送迎に要する時間を除く)

(3) 利用人員

1日当たりの利用人員 10人

4. 通所サービスへの対応

生活の自立を促すために平成18年4月から始まった介護予防サービスは、別表にあるように要支援1・要支援2の認定を受けた方は、予防する目的で、筋力トレーニングなどで、体の衰えを防止するサービスです。

要支援1・2の方は食事などの基本サービスのほか、その人の目標に合わせた選択サービス（運動機能向上、栄養改善、口腔機能の向上）や自立した生活を営む為のサービス（生活向上グループ活動）が利用できます。

要介護1～5の方は入浴、排泄、食事等の日常生活のお世話や機能訓練を受けるサービスです。

5. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

前年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行の兆しを見せており予断を許さない状況になっております。特にデイサービスは在宅の利用者であり、外部との接触も多く、また盆正月等の行事には遠くからの家族が集まることも考えられました。

そこで、利用者と緊密に連絡を取り、状況や家族の帰省等の情報を共有し、体調管理等を行いました。又日々の通所に関しては送迎時から体調の確認、マスクの着用や通所前の検温並びに手指の消毒を徹底し予防対策を行いました。

6. 行事について

年間行事【令和2年度デイサービス行事について】

月	実施日	内 容	参加人数	特記事項
4	6日～11日	花見	34 名	
9	14日～19日	敬老会	30 名	
12	21日～26日	クリスマス会	34 名	
2	1日～6日	節分	34 名	

IV. 広島平和養老館居宅介護支援事業所

1. 令和2年度行事・研修・勉強会

- ◎ 研修会、勉強会に継続的に参加することにより、必要な知識、技能の習得をし、介護支援専門員としての資質の向上を図りました。

	行事・研修・勉強会等
5月	家族介護教室打合せ（藤岡）
6月	感染症施設内研修
7月	夏場の熱中症対策注意喚起
9月	令和2年度居宅サービス計画作成演習
	情報公表資料提出
	90%集中減算記録整理（令和2年前期）
10月	家族介護教室（毛利下）
11月	家族介護教室交流会（藤岡）
	冬場の事故予防対策注意喚起
	令和2年度介護予防ケアマネジメント研修
12月	令和2年度広島市認定調査員現任研修
3月	90%集中減算記録整理（令和2年後期）
	居宅介護支援事業者研修会
	新型コロナウイルス感染対策研修

2. 新型コロナ感染症に対する取り組みについて

前年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行の兆しを見せており予断を許さない状況になっております。居宅サービスは在宅の利用者であり、外部との接触も多く、また盆正月等の行事には遠くからの家族が集まることも考えられました。

そこで、利用者と緊密に連絡を取り、状況や家族の帰省等の情報を共有し、体調管理等を行いました。訪問の際には体調の確認、マスクの着用や通所前の検温並びに手指の消毒を徹底し予防対策の周知をおこないました。

2. 令和2年度居宅サービス計画の総数

	計画数（要介護）	計画数（介護予防）	計画数（総合）	計
4月	19	19	3	41
5月	21	16	3	40
6月	20	19	3	42
7月	19	19	2	40
8月	21	19	2	42
9月	22	18	3	43
10月	22	18	3	43
11月	23	18	3	44
12月	23	17	3	43
1月	23	19	3	45
2月	23	18	3	44
3月	22	18	3	43
合計	258	218	34	510

※介護予防は、広島市宇品・似島地域包括支援センターの委託による。

V. 養護老人ホーム

養護老人ホームは、昭和40年開設以来、安定した運営を展開してきましたが、今年度は定員割れが続き、十分な収益をあげることができませんでした。

1. 入居者の状況について(令和3年3月31日現在)

① 定員 50名(ショート2名) ② 実人員 45名(ショート0名)

③ 年齢別状況

	～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～	合計
男性	1名	10名	8名	1名	0名	20名
女性	0名	5名	10名	10名	0名	25名
計	1名	15名	18名	11名	0名	45名

※ 入居者平均年齢82.9ヶ月 ※ 最高年齢98.0ヶ月 最小年齢64.9月

④ 要介護度の状況

区分	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男性	1名	0名	3名	1名	0名	5名
女性	8名	3名	3名	3名	0名	17名
合計	9名	3名	6名	4名	0名	22名
	20.0%	7.0%	13.0%	9.0%	0.0%	49.0%

⑤ 月別入院状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人員	8名	7名	2名	2名	3名	1名	2名	1名	2名	3名	6名	5名	42名
延べ 日数	92日	114日	32日	26日	46日	30日	17日	30日	56日	65日	101日	94日	703日

(前年度642日)

2. サービスの主な内容(給食について)

- ① 管理栄養士が中心となって、バランスの取れた献立を作成しました。
- ② 冷たい物は冷たく、温かい物は温かく、適温食を提供しました。
- ③ 食堂前に1週間の献立を提示し、関心を持ってもらえるようにしました。
- ④ より良い献立を作成するにあたり、アンケート調査を実施しました。
- ⑤ 持病を持った人に対しては、特別食を提供しました。
- ⑥ 楽しい食事となるよう、オムライスの日、カレーの日、お好み焼きの日を設定しました。
- ⑦ 一日当たりのエネルギー1,400キロカロリー、一日当たりの食費820円。
- ⑧ 非常事態に備え、災害非常食を3日分常備しました。

3. 入浴について

- ① 毎日塩素消毒を行いました。
- ② 介助浴を週2回午前中に、一般浴を週4回午後に行いました。

4. 排泄について

- ① 一部の介護者については、排尿・排便誘導し、オムツを利用する場合は、カーテンの使用等、本人に対するプライバシーに配慮しました。

5. 機能訓練について

- ① 養護老人ホームの利用者には「寝たきりにしない」を目標に努力してきました。

6. 健康管理について

- ① 嘱託医・看護師・介護職の連携により、健康管理に努力しました。
- ② 毎月、体重測定を実施し、健康面、栄養面の個別のチェックを行いました。
- ③ インフルエンザ対策として、入居者及び職員にワクチンの投与を1回行いました。
結果、インフルエンザ感染者は職員利用者とも0名でした。
- ④ 前年度末より新型コロナウイルスの発症が全国的に見られました。当初は未知のウイルスとのこともあり、対応するために研修に参加し、各職員に徹底周知を図るとともに、利用者にも極力不要不急の外出を控えてもらうなど、協力をいただきながら、結果年度末日現在において発症者はいませんでした。
- ⑤ 感染症のリスクを軽減するための必要な知識、対応・防止のため、感染症対策委員会を年4回開催しました。

7. 災害対策について

- ① 消防設備、非難器具の点検を行いました。
- ② 非常時災害訓練を年3回実施しました。

8. 家族・交流について

- ① 家族との連絡を密に取り合いました。
- ② 施設だよりを年2回発行し、情報の共有に努めました。
- ③ ボランティア介護体験実習生の受け入れの代わりに似島中学校生徒さんに職場体験実習として車椅子の体験学習を行い交流と啓発をはかりました。

9. レクリエーション活動について

- ① 「生きがい対策」として、新型コロナウイルス感染のリスク回避のため例年では踊りクラブなどが中止となり、満足な結果とはなりませんでしたが、昼の時間を使いほぼ毎日ラジオ体操の時間を設け身体を動かしてもらい気分転換を図ってもらうよう努めました。
春の花見は利用者も楽しみにしていたこともあり、1日の人数を絞り、数回に分けて桜を堪能してもらい、桜もちを食していただきました。
- ② 食堂の窓に季節ごとに飾りをつくり、飾りつけを利用者と一緒に行ない季節感を感じてもらおうように心がけました。
- ③ 外出自粛などの制限がある中、気分転換を図るためにも、園芸クラブとして敷地内にある用地を利用し、野菜や花を植えて収穫や日々の鑑賞の楽しんでもらえるよう努めました。

10. 人材育成について

- ① 令和3年3月31日現在、看護師1名、ケアマネ1名、介護福祉士4名、実務者研修1名、ヘルパー2級(初任者研修含む)4名を配置しています。
介護技術の向上・支援員の知識向上が求められていることから、介護福祉士資格取得に向け取り組み2名が資格取得しました。

- ② 2年度新たに職員となった者に対し、施設内で新人研修を行い、基本となる知識・行動について向上を図りました。
- ③施設内外での研修がコロナの緊急事態宣言等により開催が限られましたが、リモート研修に参加し、内容を施設内研修にて報告し資質向上に努めました。

1 1. 施設利用者の虐待防止について

28年度に、入所者に対する虐待行為があったとの通報が広島市からあり、引き続き施設としても重要課題と位置づけています。

今後虐待0の施設にしていくために、虐待防止の施設内外の研修に参加し、また虐待防止委員会を年4回開催し、職員の介護技術だけでなく、意識の向上を目的に、具体的な事例検討を話し合い精査していきました。利用者の意向を尊重し積極的に取り入れるようにするため、アンケートを実施しその結果について、寮母会議等の時間を利用し、話し合いをしました。

1 2. 介護事故予防に向けた取り組みについて

利用者の介護時、見守り中の転倒等の事例検討や現在のリスクについて、介護事故予防委員会を年4回開催し、事故の予防に努めました。

1 3. 新型コロナウイルス感染症に対する取り組みについて

前年度の後半から新型コロナウイルスが発生し流行の兆しを見せており予断を許さない状況になっております。当初は情報も少なく手探りの状態の中、職員は感染症対策のため毎日の検温と業務中に限らず業務外でも手指の消毒の徹底に取り組み、密を避けるための行動をとりました。

ご家族との面会もお断りすることが多く、玄関のガラス越しや1F居室の外部の窓越しで面会をするケースもありました。

他に家族との面会に関してはリモートでも行えるよう環境を整える課題が残りました。

また利用者にも蜜を避ける行動をお願いし、具体的には、入浴・食事の食堂に入る人数制限や、居室外でのマスクの着用の声掛け、毎日の食事もバイキング方式を通年取りやめ、職員が手指消毒後に配膳し、大勢の者が共有することを極力避けました。外出者は通院等の不要不急を除き、最低限の目的地以外への訪問や数カ所にわたる買い物等を控えてもらうように協力していただきました。

